

令和元年度  
網走市における景気動向調査  
<第IV四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

# 目 次

## 第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間	1
1-2. 調査対象	1
1-3. 調査方法	1
1-4. 回収状況	1

## 第2章 概況

2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3

## 第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明	4
3-2. 業況	4
3-3. 採算	10

## 第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数	11
4-2. 回答割合	11

## 第5章 産業別設備投資の状況

## 第6章 業界の景気動向等その他のご意見

13

# 第1章 調査要領

## 1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点：令和2年1月1日(水)～2年3月31日(火)

(2) 調査対象期間：令和2年1月～3月期実施、及び令和2年4月～6月見通し

## 1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（23件）、卸売業（20件）、小売業（38件）、サービス業（44件）の155社を調査対象とした。

## 1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

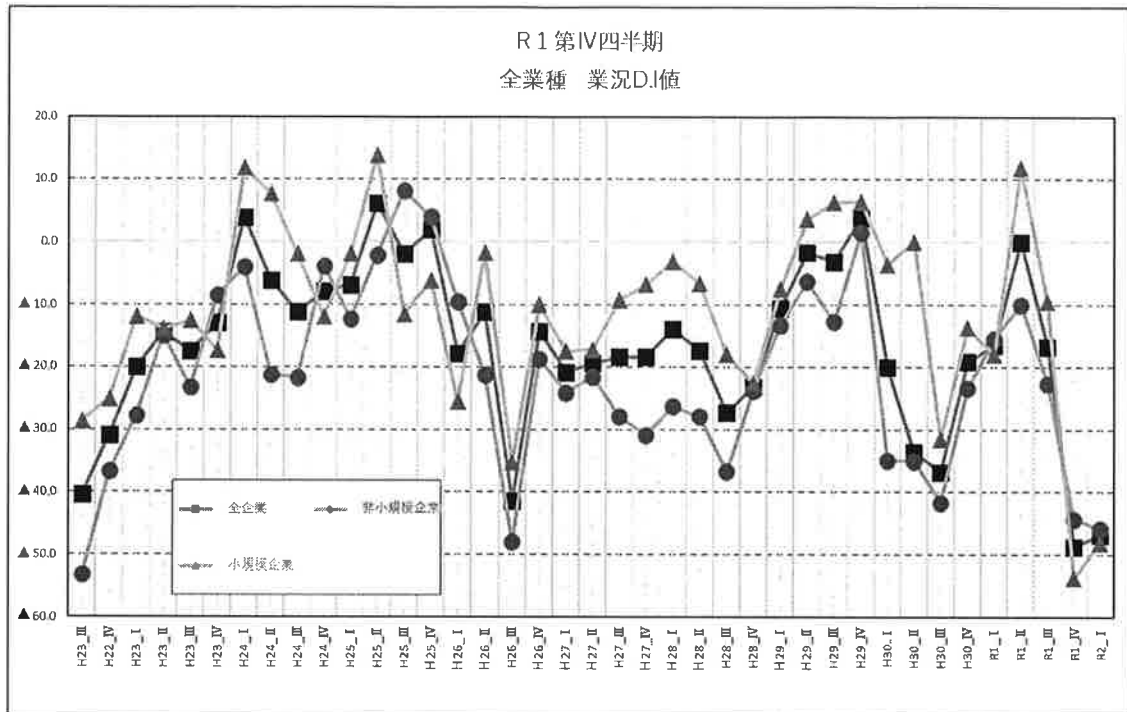
## 1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	23件 (非小規模企業:11件) (小規模企業:12件)	76.7%
製造業		23件	17件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:8件)	73.9%
卸売業		20件	14件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:5件)	70.0%
小売業		38件	28件 (非小規模企業:16件) (小規模企業:12件)	73.7%
サービス業		44件	31件 (非小規模企業:16件) (小規模企業:15件)	70.5%
合計		155件	113件	72.9%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業、小売業、サービス業は5人以下）を示している。

## 第2章 概況

### 2-1. 全体の動き



令和元年度第IV四半期（1月～3月）の業況は、前年同月比で「好転企業」9.7%「悪化企業」58.4%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲48.7と大きく後退し、前期から今期にかけてさらに悪化傾向を示しました。

業種別で見た業況は建設業が9.4ポイント悪化し▲17.4、製造業52.9ポイント悪化し▲52.9、卸売業64.3ポイント悪化し▲64.3、小売業15.1ポイント悪化し▲53.6、サービス業60.2ポイント悪化し▲63.3と全ての業種で悪化傾向を示し、特に卸売業、サービス業は大きく悪化しました。

次期（4月～6月）の業況判断D.I値は、今期と比べ1.8ポイント改善し、▲46.9を予想しております。業種別では小売業3.5ポイント悪化し▲57.1、サービス業1.2ポイント悪化し▲64.5、建設業8.7ポイント改善し▲8.7、製造業5.8ポイント改善し▲47.1、卸売業14.3ポイント改善し▲50.0と全体的に改善傾向を示しています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の40.7%を占め、第III四半期との比較で14%改善したものの依然解消されていなく深刻さを増している状況にあります。また、「得意先減少」「売上の不振」を問題にしている企業が多くあります。また、今期の特徴として「人件費増」「諸経費増」が減少傾向にあります。

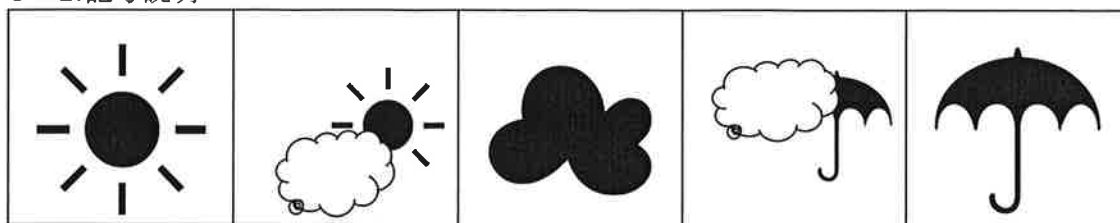
全体としては、第III四半期から悪化傾向にありましたが、今期さらにマイナス水準になり、次期業況においてはマイナス水準が継続する予想となりました。前期から新型コロナウイルスの影響も続き、依然として予断を許さない状況にあるといえ、全業種とも経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高 (建設業は完成工事高)			採算			次期 (D.I値)		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	25.0	50.0	▲ 34.8	8.3	25.0	▲ 16.7	8.3	0.0	0.0
	非小規模	9.1	54.5	▲ 45.5	9.1	45.5	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2
	全体	17.4	52.2	▲ 25.0	8.7	34.8	▲ 26.1	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 8.7
製造業	小規模	25.0	75.0	▲ 41.2	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 57.1
	非小規模	11.1	44.4	▲ 33.3	22.2	55.6	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 66.7	▲ 22.2
	全体	17.6	58.8	▲ 50.0	17.6	64.7	▲ 47.1	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 37.5
卸売業	小規模	0.0	80.0	▲ 64.3	20.0	80.0	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 33.3
	非小規模	11.1	66.7	▲ 55.6	11.1	33.3	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 25.0
	全体	7.1	71.4	▲ 80.0	14.3	50.0	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 27.3
小売業	小規模	8.3	50.0	▲ 41.7	8.3	50.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 45.5
	非小規模	6.3	81.3	▲ 75.0	0.0	56.3	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 68.8	▲ 25.0
	全体	7.1	67.9	▲ 60.7	3.2	48.4	▲ 45.2	▲ 57.1	▲ 60.7	▲ 34.8
サービス業	小規模	6.7	86.7	▲ 61.3	0.0	86.7	▲ 86.7	▲ 86.7	▲ 86.7	▲ 53.8
	非小規模	12.5	56.3	▲ 43.8	18.8	62.5	▲ 43.8	▲ 43.8	▲ 56.3	▲ 30.8
	全体	9.7	71.1	▲ 80.0	9.7	74.2	▲ 64.5	▲ 64.5	▲ 71.0	▲ 42.3

### 第3章 各判断項目回答割合と天気図

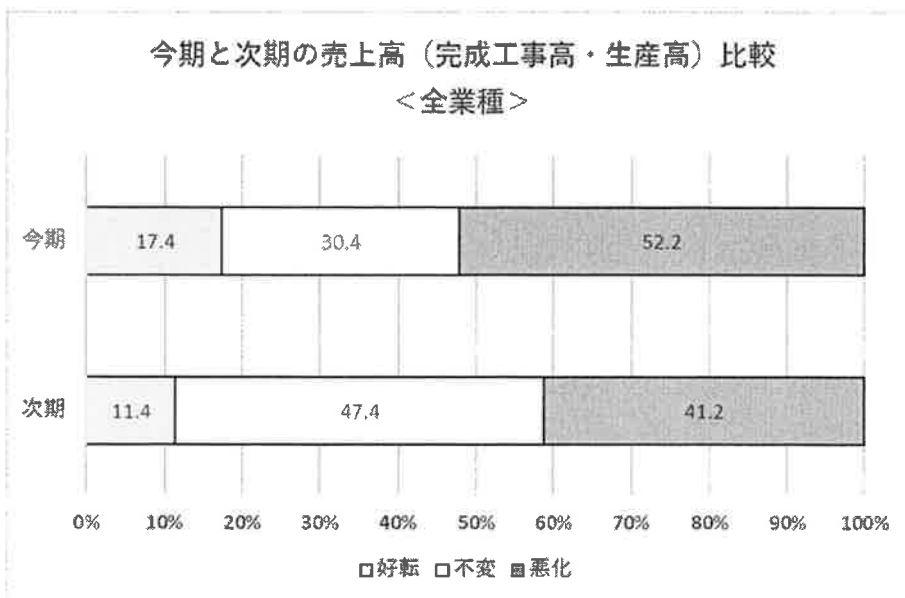
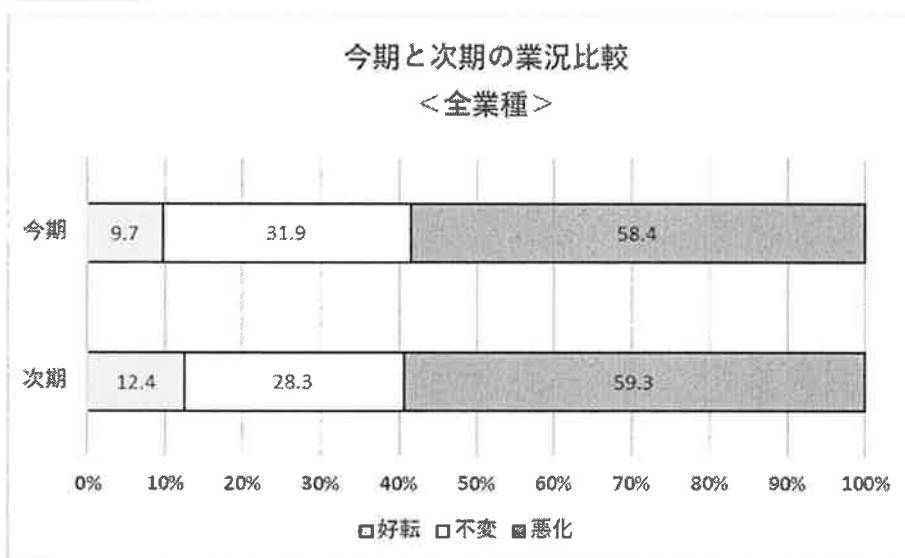
#### 3-1. 記号説明



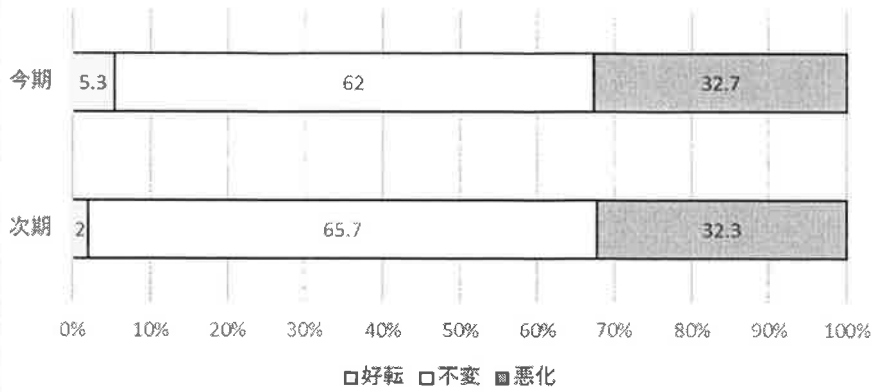
とくに好調 (D.I. ≥ 50)      好 調 (50 > D.I. ≥ 25)      まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)      不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)      きわめて不振 (▲25 > D.I.)

#### 3-2. 業況

全業種



今期と次期の資金繰り比較  
 <全業種>



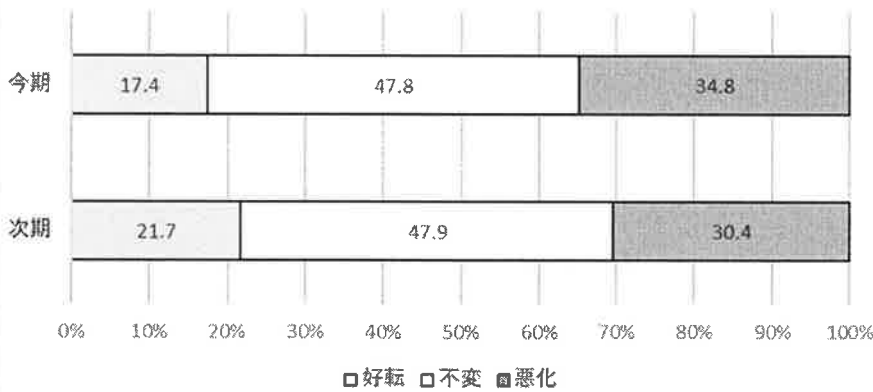
▲ 27.4



▲ 30.3

建設業

今期と次期の業況比較  
 <建設業>

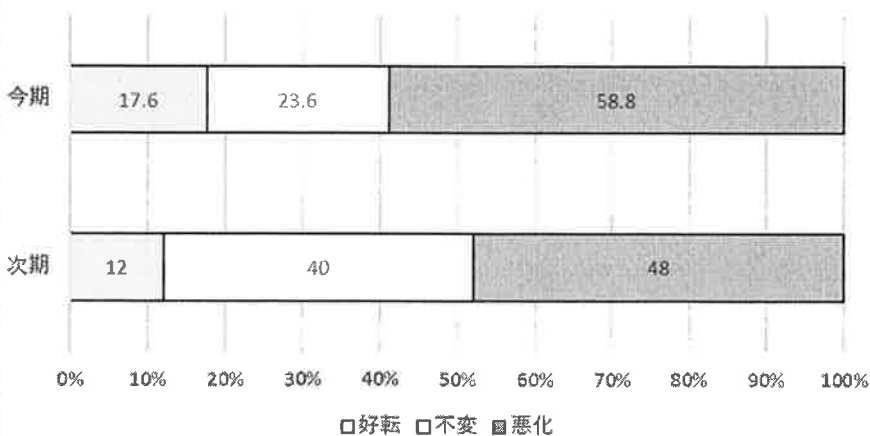


▲ 17.4



▲ 8.7

今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較  
 <建設業>

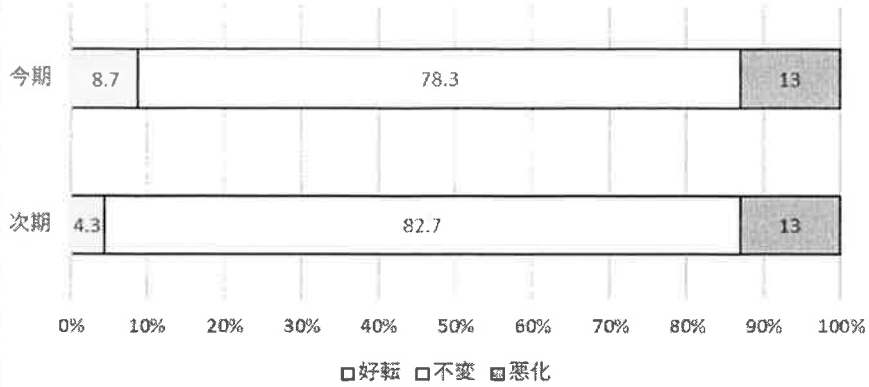


▲ 41.2



▲ 36.0

今期と次期の資金繰り比較  
 <建設業>



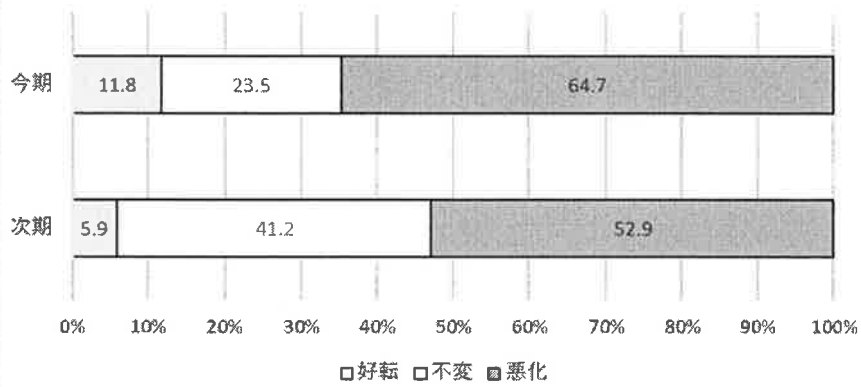
▲ 4.3



▲ 8.7

製造業

今期と次期の業況比較  
 <製造業>

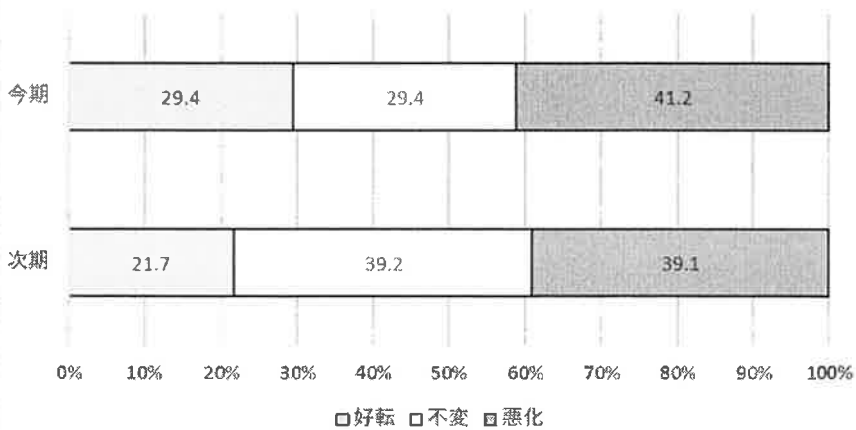


▲ 52.9

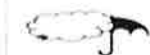


▲ 47.0

今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較  
 <製造業>

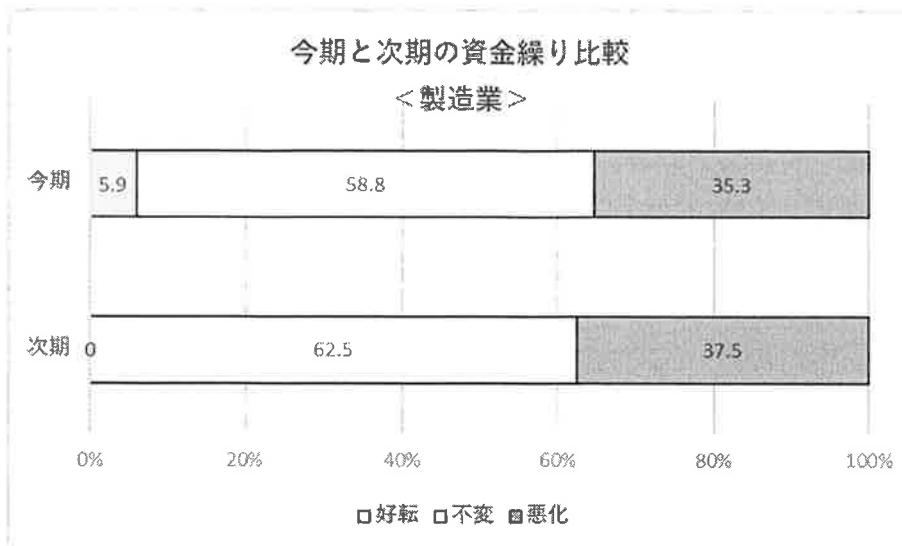


▲ 11.8



▲ 17.4

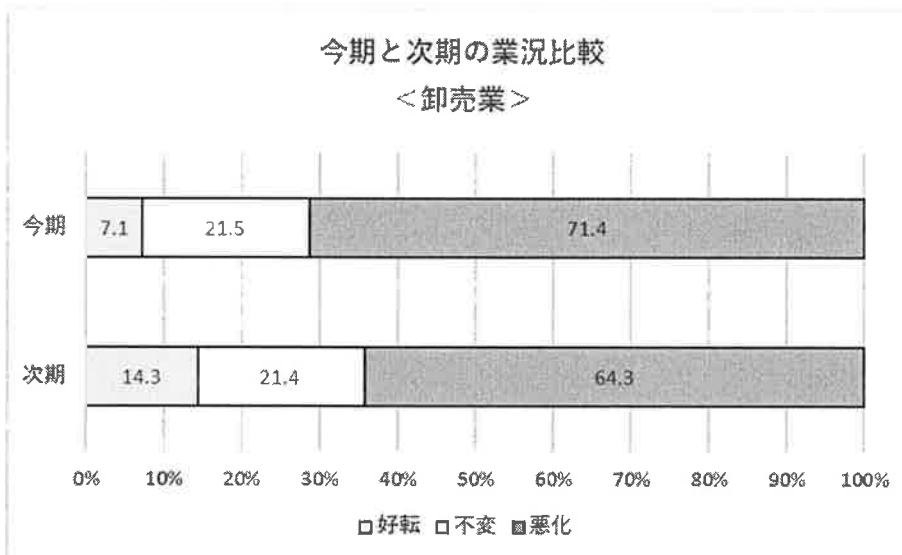




▲ 29.4

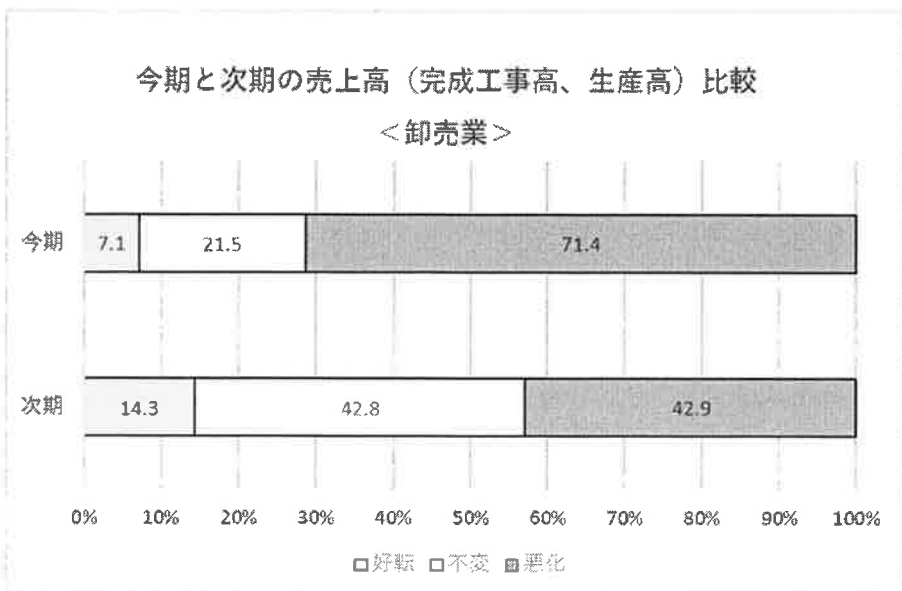
▲ 37.5

## 卸売業



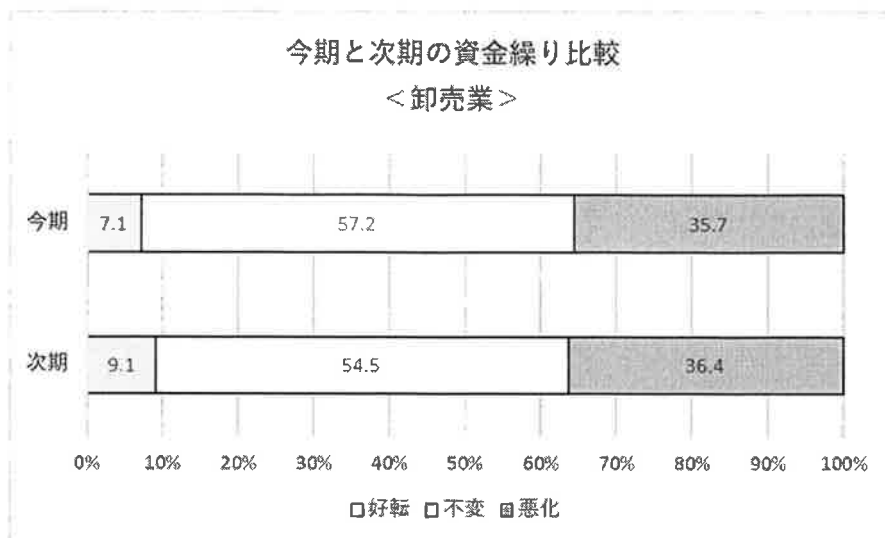
▲ 64.3

▲ 50.0



▲ 64.3

▲ 28.6

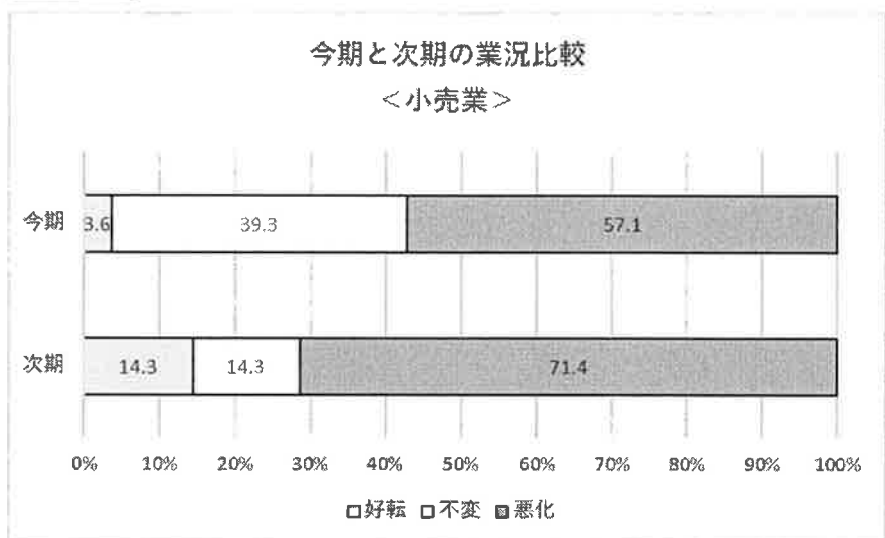


▲28.6



▲27.3

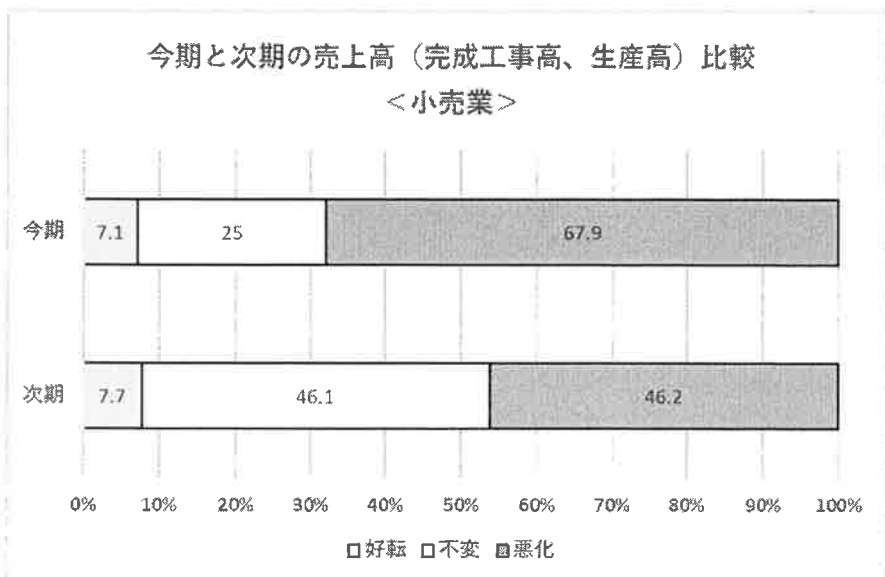
### 小売業



▲53.5



▲57.1

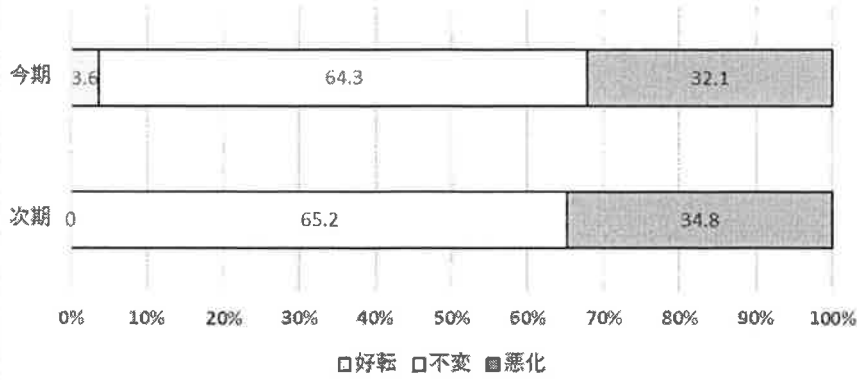


▲60.8



▲38.5

今期と次期の資金繰り比較  
 <小売業>



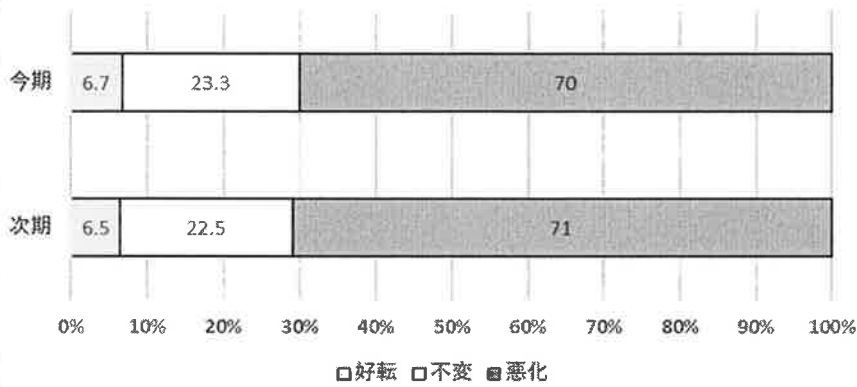
▲28.5



▲34.8

サービス業

今期と次期の業況比較  
 <サービス業>

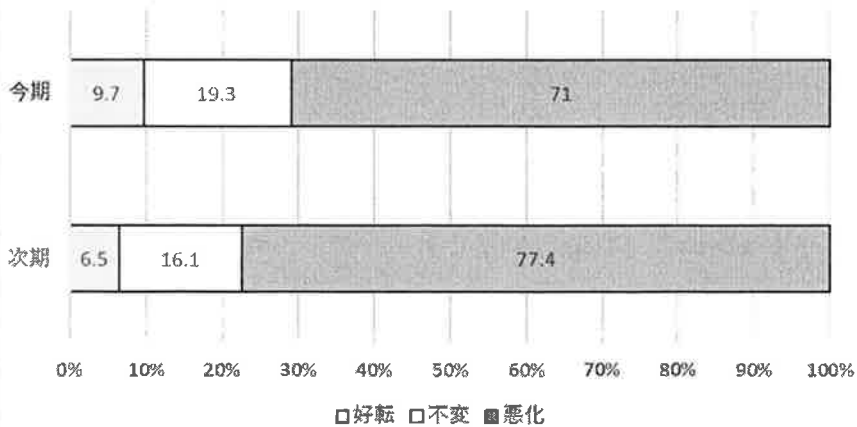


▲63.3



▲64.5

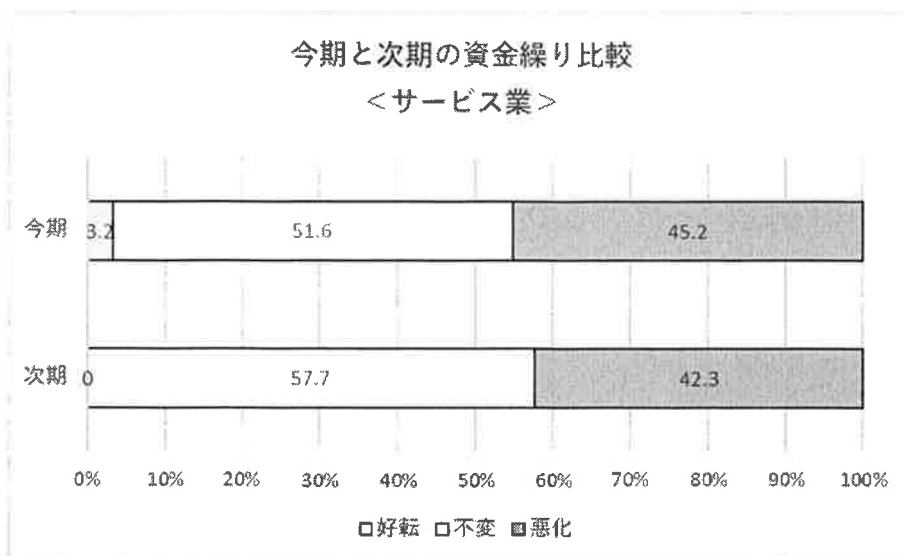
今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較  
 <サービス業>



▲61.3



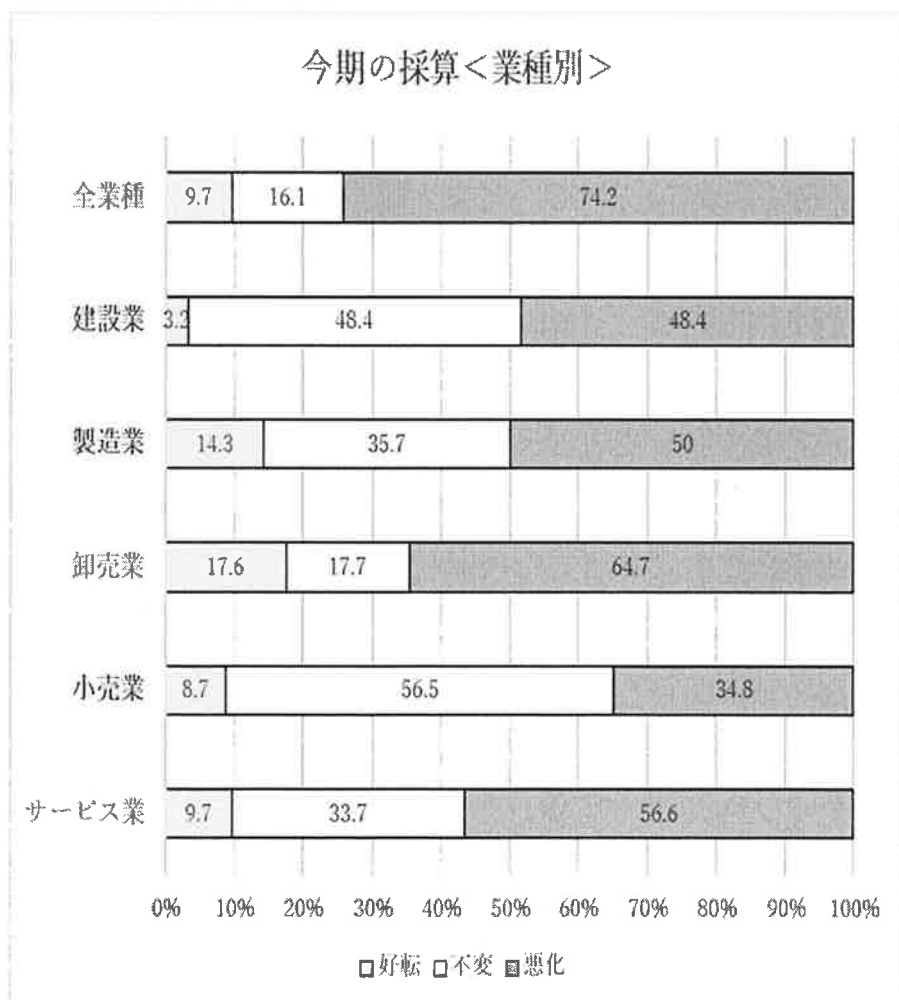
▲70.9



▲ 4 2.0

▲ 4 2.3

### 3-3. 採算



▲ 6 4.5

▲ 4 5.2

▲ 3 5.7

▲ 4 7.1

▲ 2 6.1

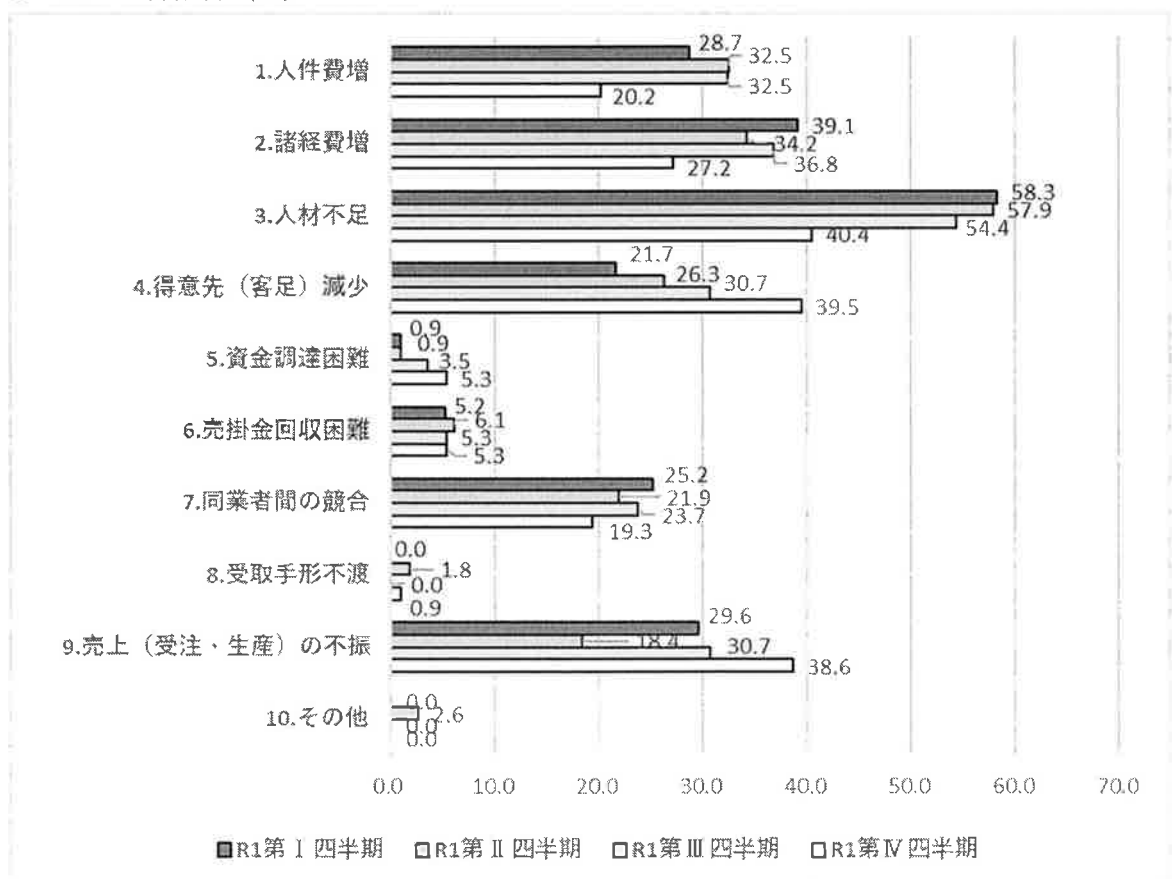
▲ 4 6.9

## 第4章 産業別経営上の問題点

### 4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	人件費増 得意先減少	同業者間の競合
製造業	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	同業者間の競合
卸売業	得意先減少 売上の不振	同業者間の競合	人件費増 諸経費増	人材不足 売掛金回収困難	受取手形不渡
小売業	得意先減少	売上の不振	同業者間の競合	人材不足	諸経費増
サービス業	得意先減少	人材不足 売上の不振	人件費増 諸経費増	資金調達困難	同業者間の競合
合計	得意先減少	売上の不振	諸経費増	人件費増	同業者間の競合

### 4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

## 第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	6件	26.1	3件	17.6	1件	7.1	1件	3.6	6件	19.4	17件	15.0
してない	16件	69.6	12件	70.6	12件	85.8	26件	92.8	24件	77.4	90件	79.7
無回答	1件	4.3	2件	11.8	1件	7.1	1件	3.6	1件	3.2	6件	5.3
合計	23件	100.0	17件	100.0	14件	100.0	28件	100.0	31件	100.0	113件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	1件	0件	1件	0件	0件	1件
店舗	0件	0件	0件	0件	1件	1件
販売設備	0件	0件	0件	0件	0件	0件
車両運搬具	7件	1件	0件	0件	3件	11件
付帯設備	0件	3件	1件	1件	2件	7件
OA機器	0件	0件	0件	0件	1件	1件
福利厚生施設	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	0件	1件	0件	0件	0件	1件
合計	8件	5件	2件	1件	7件	22件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

## 第6章 業界の景気動向等その他のご意見

### ◎業界の問題点について

#### 【建設業】

- ・新型コロナウイルスによる民間投資の減少
- ・コロナの影響により民間の客足が伸びない。今後、公共工事の発注に不安がある。
- ・新型コロナウイルスの影響がジワジワと弊社にも来るような気がしており毎日が不安です。
- ・コロナの影響で仕事、生活はどうなるのでしょうか？

#### 【製造業】

- ・新型コロナによる需要の変化への対応。人員の確保が難しくなっている。
- ・全国的消費低迷による販売不振と低価格化。仕入単価も下がっているが販売単価も下がっているの？粗利金額が大幅に減っている。
- ・新型コロナウイルスにより、各種イベント、祭り、スポーツ、文化行事が中止となり、印刷物の発注が大幅に減少となりそう。
- ・新型コロナウイルスも影響が大きい。業務用商品の需要は大きく減少している。
- ・コロナウィルスで仕事の受注が厳しい。

#### 【卸売業】

- ・販売品目を増やして売上増になるように努力した。

#### 【小売業】

- ・小売業もコロナの影響が大きい。今後も見通しがつかず不安。
- ・全ては新型コロナウイルスによる客足減少に尽きる。いつまで経営が続くか分からない。
- ・コロナの影響が大！客足が遠のき、いつ収束するか先行きが見えない不安。
- ・学校給食納品減少。居酒屋納品減少。店頭売上減少。
- ・新型コロナウイルスの影響で取引先が営業を縮小、またはやめることになると大変だ！！
- ・業界ではないが全体的に消費増税後、消費者の買い換えまで売上落ち込んでいると思われる。今後主にコロナでどうなっていくか不安。

#### 【サービス業】

- ・新型コロナウイルスに起因する業績悪化が顕著であり、今後も長期化することが予想される。
- ・コロナウィルスの影響がなくなり、経済活動がある程度、正常（元の状態）に戻るまで借入金（公庫、銀行等の元金返済）の凍結等の措置があれば事業継続の可能性が高いと思います。

- ・全てがコロナウィルスの影響です。
- ・新型コロナウイルスが売上減少などに響いています。アルバイト（道外都心部分からの帰省）学生の使用を良く考えて使ってもらいたい。
  - ・市内の飲食業界は大きな打撃を受けている。コロナショックの影響が少ない業者はほとんどない。壊滅的な状況は終息後に顕著になるだろう。会議所、行政はアフターコロナへの対応を今から進めてほしい。休業給付金は減収保障に充当しない（一時しのぎの栄養ドリンク）。地域が一つにまとまって取り組まなくては飲食、観光事業者に留まらず、様々な業種に渡り影響は計り知れない。
- ・新型コロナウイルス感染症関連で予約のキャンセルがあったり、また、その対策としていくつか新たに始めた予防法のために今まで使用していないものを導入したため、消耗品類の出費が増えるなどしています。※当サロンでは、布のおしぼりを止めて全て使い捨てのものに変更したり、免疫力アップのための耳つぼサービスを無料で施行するなどしているため、そのコストがかかるようになりました。
- ・コロナウィルスの影響がはっきりと出て来たようです。非常に悪い状態です。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で喫茶店への客足は減りました。長期間に渡り、この状況が続けば経営資金の調達（融資等）をしなければなりません。